



三浦ロータリークラブ 週報

2015年5月14日 第2602回例会

事務局：三浦商工会議所 〒238-0243 三浦市三崎2丁目22番16号 TEL 046(881)5111 URL <http://www.miura-rc.jp>

- ◇ 国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホアン (台北 RC)
- ◇ 国際ロータリー第 2780 地区ガバナー
渡辺 治夫 (横須賀 RC)
- ◇ 国際ロータリー第 2780 地区第 1 グループ
ガバナー補佐 鈴木 康仁
- ◇ 三浦ロータリークラブ
会 長：鈴木 正孝
副 会 長：土田 成明
幹 事：芹川 直行
- ◇ 公共イメージ委員会
委 員 長：大石 精一
副委員長：木村 謙蔵
委 員：長瀬 六朗
- ◇ 例会日 毎週木曜日 12時30分点鐘
- ◇ 例会場 三浦商工会議所 3階ホール
〒238-0243 三浦市三崎2丁目22番16号
- ◇ TEL 046(881)5111 FAX 046(881)3346
- ◇ website <http://www.miura-rc.jp>

2015年5月14日 第2602回例会

- ◇ 点 鐘 12時30分
- ◇ ロータリーソング『我らのなりわい』

会長報告 鈴木正孝会長

皆様、こんにちは。9日の土曜日に南西クラブの佐藤会長の会社の60周年に出席して来ました。約500人の立食パーティーで盛大に催されました。

翌日の10日曜日には三浦ライオンズクラブの50周年がうらりで行われ出席して来ました。当日は挨拶が無かったので気楽に壇上に座っていました。高木さんも商工会議所会頭代理で出席されていました。壇上で高木さんがご挨拶の指名を受けた時、一瞬の間がありました。後で伺ったら挨拶の事は聞いていなかったそうです。しかし



さすが高木さんです、準備が無くてもしっかりと内容のあるご挨拶をされていました。式典でライオンズクラブの活動や事業の紹介がありました。新三崎中学の体育館の緞帳一式を寄付されていました。また献血や少年野球、少年サッカーの主催、後援などもしてしっかりと地元に関差した活動を行っていました。かねてから疑問に思っていた地元を通り越した事業の多いロータリークラブの活動とはかなり違うものでした。それぞれの活動に優劣はつけられませんが、ライオンズクラブの活動の方が明らかに地元へアピールするものでクラブの知名度も高くなります。ロータリーもこの所公共イメージアップに力を入れています。ライオンズクラブのそれには及びません。今後、会員増強も踏まえて事業を少し見直す必要があるのではないかと思います。今日は二回目の地区協報告です。宜しくお願い致します。

幹事報告

- * 地区より
サンパウロ国際大会 地区ナイトと一日ツアー案内
- * 6月例会案内 横須賀西RC
- * 週報 横須賀北RC
当クラブ週報ゲラ確認…3月5日・12日号
修正が必要な場合は事務局へお申し出ください
- * 三浦市社会福祉協議会 第1回評議員会開催案内
- * 三浦市交通安全対策協議会総会資料

出席報告

- ・ 会員総数：26名
本日出席：15名 欠席：10名
出席率 60%
- ・ MAKE UP
鈴木正孝、鈴木康仁、芹川直行、星野 雄、
高木 巖、秋本清道、菊池 恵、笠倉正弘、
(理事会)
鈴木康仁、(地区会議2回)

以上により、出席率は100%となります

ニコニコ BOX 報告 吉野 哲 会員

ニコニコ BOX 集計報告

	本日	前回迄	累計
ニコニコ	1,000 円	404,000 円	405,000 円
財 団	5,000 円	74,000 円	79,000 円
ポ リ オ	0 円	36,000 円	36,000 円
米 山	5,000 円	51,500 円	56,500 円
周 年	0 円	2,000 円	2,000 円
計	11,000 円	567,500 円	578,500 円

- ・ 藍田和雄 前回欠席のおわびとして。
- ・ 鈴木康仁

委員長報告

- 親睦委員会 秋本清道 委員長
「さよなら例会」について

地区研修協議会報告

- 菊池 恵 会員・鈴木康仁 会員・松崎貞男 会員
- 笠倉正弘 会員

相模原南 RC の大谷新一郎リーダー、大和田園 RC の佐々木辰郎、茅ヶ崎湘南 RC の加藤盛久両サブリーダーの元、公共イメージ部門の委員会が始まりました。

この「公共イメージ」という名称は前年度の相澤ガバナーが「広報委員会」からその呼び方を替えたのみならずロータリーのイメージを積極的に外部に発信すべく各地域のイベントやお祭りに参加してロータリーを市民にもっと知ってもらおうとの思いでスタートしたと思います、そのツールとしての「END POLIO NOW!」があるのだらうと思います。

今回の委員会の雰囲気も過去2年間の流れを踏襲発展させるんだというイメージを感じました初めての「公共イメージ部門」への参加なので、これを機に次年度に担当するこの委員会の活動の参考になればと最近何かにつけてモチベーションが低い自分へのテンションを上げてまいりました。

大谷リーダーの基調スピーチで感じたのですがこれらの2年間の取組みからつかんだ「公共イメージ」とは何かを判りやすく話されてよく理解できました、又ロータリー活動を多くの市民に知ってもらう機会が増えれば会員入会活動の助けになるとの話もなるほどと思いますし会員増強委員会と公共イメージのアップは表裏一体なんだとも感じました。

次年度の担当としてここ2年の流れを踏襲するのかはたまた別な展開をするのか皆さんの意見を戴きながらやってまいりますので宜しくご指導ねがいます。

地区研修協議会報告

- 青少年奉仕部門 高木 巖 会員

青少年育成プログラムにはインターアクト（12～18歳・高校生）、ローターアクト（18～30歳・大学生）、青少年交換（15～17歳・高校生）、ライラ（現在は休止）の4つがあります。



- ① インターアクト
神奈川県 2780 地区では 12 の高校でクラブ活動としてインターアクトがある。湘南高校・三浦高校・津久井浜高校を南西クラブが立ち上げたが、現在は ない。
- ② ローターアクト
4 つのクラブがあり、ロータリークラブがスポンサーを担っている。総勢 30 名弱で会員数が減ってきている。
- ③ 青少年交換
毎年各グループ一名、2780 地区では合計 9 名の学生を派遣し、受入れをしている。対象国は、アメリカ・カナダ・メキシコ・ブラジル・台湾・オーストラリア・ロシア・スウェーデン・フランス・オーストリアの 11 ヶ国。
三浦 RC 派遣
受入れ ロシア ガリーナ（菊池会員）
フランス マノン（秋本会員）

<青少年プログラムの生い立ち>

1927 年（昭和 2 年、88 年前）ロータリアンの子供を預け合ったことから始まりました。1950 年（昭和 25 年）に青少年交換の原型が出来上がりました。

1972 年（昭和 47 年）に国際ロータリーの理事会は、世界中の地区に青少年交換を推奨することを決議しました。今日では 150 ヶ国以上で、年に 9000 人の学生が交換留学生となっています。

<青少年委員会の役割>

地区ではこの制度が安全かつ円滑に進行するよう、ホストクラブとの連絡や入出庫国に関する書類のやり取りなどをサポートしています。

<交換留学生に関するルール>

- ① 留学期間 11 ヶ月以上 1 年未満。高校に通学できること。
- ② 派遣国での学力試験・面接に合格。地区ガバナー・委員会が認めた学生であること。
- ③ 青少年交換プログラムやロータリーについて理解していること。
- ④ 4D ルール、ノードリング、ノードライブ、ノードイト、ノードラッグを理解し、尊寿すること。

<費用負担について>

地区から（9月・2月）に助成金の支給年額90万円。内訳は内訳は学費、教材費、通学費、ケイチデンワ、ばそこん代など。制服代、修学旅行費、ホストファミリーへの食費補助。お小遣い10,000.-などに使われます。学生の負担は、往復の運賃、留学生保険（12万円）自分のブレザー、派遣先での旅行費用など。

年間90万円では少ないかも。

<今後の課題>

ロータリークラブ会員の高齢化、会員数の減少や地区予算の減少などの理由で、青少年交換プログラムの縮小を唱えるクラブがある。1年間のお世話は大変である。山陰や東北の地区では、派遣させたい優秀な学生はいるが、（田舎なので）交換に応じてくれる相手国がなく、プログラムが成立しない所もある。

例えば、2780地区では毎年30人以上の応募者の中から優秀な学生を選んで、帰国後もROTEXとして活動している。他地区から見たらうらやましいと言っていました。

グローバルな視野と人脈を持つ一人でも多く世に出していけるように、皆様のご理解とご協力をお願いします。